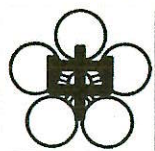


<校訓> 白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標 「自ら学び 創造する生徒」 「豊かな心で 思いやりのある生徒」 「ねばり強く 健康な生

板橋区立加賀中学校
学校だより

令和7年度 第7号
令和7年10月20日
校長 松本 彰弘

何事も基礎・基本が大切です

今年のノーベル賞受賞者の発表があり、「生理学・医学賞」に坂口志文氏、「化学賞」に北川進氏が選ばれました。とても嬉しいニュースです。お二人に共通するのは、何年もの間地道な基礎研究を続けてきたことです。ノーベル賞に輝くような大発明は、急にできるものではないこと、基礎・基本の積み重ねが大切だということを、お二人の受賞で改めて痛感しました。みなさんが毎日続けている学習も、基礎・基本をおろそかにしないことが、大きな成果を得る近道だと思います。部活動にも同じことが言えますね。地道な努力を続け、毎日一歩前進しましょう。

さて、以前勤めていた区で、2000年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹氏の講演を聞く機会がありました。その区の中学1年生全員が白川氏の講演を聞くことができました。ノーベル賞受賞者の話を聞く機会などめったにあることはありません。私も生徒と一緒に真剣に講演を聞きました。その時、白川氏が語った内容をみなさんに紹介します。

- 1 子供のころから理科が好きだった。昆虫採集や植物採集、ラジオの組み立てなどをしていました。昆虫採集に夢中になったきっかけは、ファール昆虫記を読んだこと。子供の時に、大自然の中で学ぶ楽しさを、それこそ自然に（おのずから、ひとりでに）学んだ。
- 2 科学とは、自然をよりよく知ろうとする知的好奇心であり、心が豊かになるもの。技術とは、自然と共存するための知識を得ることであり、生活を豊かにするもの。
- 3 セレンディピティ（偶然や失敗の中から、すばらしい発見や発明に結びつける能力、白川氏は偶然見出した現象から大発見をしたそうです）の語源となったのは、ペルシャのおとぎ話にあるスリランカの3人の王子の話。思いがけない発見がすばらしい発明につながることもある。（例）ニュートンの万有引力の発見、レントゲンのX線の発見、など
- 4 偶然には、やってくる偶然と迎えに行く偶然がある。どうすれば偶然により多く出会えるかというと、予想外の結果や誤りを失敗として捨て去らないことだ。
*パスカルの言葉「チャンスは待ちかまえた知性の持ち主だけに好意を示す。」
*ジョセフヘンリーの言葉「偉大な発見の種はいつでも私たちの周りを漂っている。しかし、それが根を下ろすのはそれを待ちかまえている心である。」
- 5 世の中の事象を、よく観察すること、よく記録すること、よく調べること、よく考えること、これが大切。

白川氏はセレンディピティの話を中心に話されました。偶然や失敗から生まれるものがあるとのことですが、その偶然や失敗も基礎・基本を繰り返した中で巡り合ったものなのだと私は思っています。ノーベル賞を手にするのは夢のようなことかもしれませんが、自分の人生を輝かせるために、これからも基礎・基本をしっかり身に付ける努力をしていきましょう。

たくさん体験をして成長しました～7年生移動教室～

9月29日(月)～10月1日(水)まで、7年生の移動教室を行いました。3日間様々な体験学習をしました。

1日目は、鷹山ファミリー牧場で、「牛の乳搾り」「トラクター乗車体験」「ニジマスの掴み取り」の3つの体験を行いました。この中で面白かったのは、「トラクター乗車体験」です。野菜を運ぶ大きなかごの中に入り、トラクターで5分ほどのミニドライブをしました。でこぼこ道を通るのでとにかく揺れます。縦にも横にも揺れるので、しっかり捕まっていないと転んでしまいそうになります。揺れるたびに「キャー」という歓声が上がり、まるでジェットコースターに乗っているようなスリルを味わいました。「ニジマスの掴み取り」では小川に入り、各自がニジマスを掴み取りしました。ヌルヌルしているのでしっかり掴まないと逃げてしまいます。上手に掴めた人もいれば、悪戦苦闘した人もいました。捕まえたニジマスは、牧場の方に腸を取ってもらい、その場で自分で塩焼きにして食べました。普段は魚を好まない人も、おいしくいただくことができました。



2日目は、車山登山でした。車山肩⇒車山山頂⇒蝶々深山⇒物見岩⇒八島湿原のコースで、昼食休憩を挟み4時間あまりのトレッキングを行いました。石や岩だらけの道、急な下り坂&上り坂、笹に覆われた細道、木道など様々な道を120人が1列になって歩き回りました。歩いている途中にススキの生い茂る美しい景色を見る余裕はなかったかもしれませんが、車山山頂から見る山々の景色はカメラのレンズにも、心のレンズにも焼き付いたことと思います。私の歩数計は、スタートからゴールまでで2万歩を超えていました。歩き通したことで、大きな達成感を味わったと思います。

3日目は、宿舎(ハヶ岳荘)の野外炊飯場でピザづくりを体験しました。生地をこねる人、トッピングの具材を切る人、薪を割ってドラム缶でできた釜の火を燃やす人、それぞれのグループで役割分担をして、協力し合っておいしいピザを焼くことができました。小雨が降る中だったので、最初は釜の火をつけるのに苦労していましたが、薪に火が燃え広がった後は、どの釜にも勢いよく燃える火が見られ、ふっくら焼き上げることができていました。片付けまで終わった後で、「将来ピザ屋さんでバイトしてみたいと思った人いますか」と問いかけましたが、誰も手が上がりませんでした。



1日目と2日目の夜にはレクリエーションをしました。1日目の夜は「先生に関する問題を集めた〇×クイズ」、2日目の夜は「ピンポン球スプーン運びリレー」と「ドッジボール」を行いました。レクリエーション係が中心になって、自分たちの力で楽しい時間を作り出すことができました。

楽しいこと、学んだことが数多くあり、大きく成長できた3日間でしたが、課題もありました。それは「人の話や指示を最後まで聞かずに行動を始めてしまう、騒がしくなってしまう」ことでした。この状態だと、もし災害が発生したらパニックになり統制が利かなくなってしまうことにつながりかねません。一人一人が自覚をもって、改善することを望みます。

7年生には、この体験で学んだことを活かし、卒業までの3年間で、もっと大きく成長することを期待しています。右のページで、7年生書いた作文の一部を紹介します。

移動教室を終えて

◇登山ではいろいろな学びをしました。正直、山登りはとても大変でとても疲れたけれど、班みんなで協力し、結局登り切ることができたので良かったです。また、学習係として班のみんなが必要な写真を考えて撮影することができました。山登りでは、すれ違う人にあいさつをしっかり行うことができたのも良かったです。

◇移動教室で学んだことはたくさんありますが、特に頑張ったことがあります。それは周りを見て自主的に整頓することです。特に整頓した所は、トイレと洗面所です。この二か所は整頓がまるでなっていないという印象でした。そこで私は、散乱していた髪の毛を拾い、ぬれた床や台を拭き、忘れ物チェックをしました。髪の毛が一本も落ちていない洗面所を見て、とても清々しい気持ちになりました。このような気持ちになれたのは私だけの力ではありません。助けに来てくれた友達のお陰でもあります。今でもとても感謝しています。トイレはサンダルがそろえられていませんでした。なぜ、誰もこの有様に違和感を覚えないのだろうと思い、私たちが来たときと同じようにそろえました。他校の生徒や宿舎の方々に嫌な思いをさせたくないという一心を、行動という形にできたことは自分の中の大きな一歩だと思います。

◇私はいつも全てのことに感謝しているのか？移動教室を通して感じた疑問です。私たちは1日目に鷹山ファミリー牧場に行きました。そこで乳搾りをするときに、お話を聞きました。

「牛たちは子供を産みます。その子供は少ししか母親の乳を飲めなくて、母親の牛はすぐに人間が飲む牛乳をつくります。そして、お乳があまり出なくなると、肉として人間が食べるようになります。」と聞いて私は驚きました。牛は私たち人間のために、寿命の半分も生きられず、その時間は人間のために働くのかと考えました。だから、牛に感謝しようと思い、乳搾り体験の時に「ありがとう」と伝えました。魚のつかみ取りの時も少し罪悪感をもちましたが、食べる前にはいつも感謝をしたいと強く思いました。感謝は食べ物だけでなく、人にも伝えていきたいです。当たり前だと感じることに感謝して、学校生活を送っていききたいです。

SNS の使い方、付き合い方に注意しましょう

文化庁が「国語に関する世論調査」の結果を公表しました。調査の中に SNS の利活用に関する項目が数多くありました。「仲間内や一対一での、SNS のメッセージ送信等を行っているか」との問いには、10 代の 95.2% が「行っている」と答えています。その利点として「気軽にやりとりができる」が 86.0% 「都合のいい時間にやりとりができる」が 75.0%、となっています。その一方で、「仲間内や一対一の SNS の送信等で戸惑うこと」については、10 代の 75.0% が「相手の考えや感情がわかりにくい」55.0% が「やりとりが面倒に感じることもある」と答えています。「SNS によるコミュニケーションの質を社会全体で高めていく上での課題」としては、10 代の 72.9% が「人を傷つけたり挑発したりするような言葉がよく使われている」、72.0% が「正確かどうか疑わしい情報がよく見られる」、64.5% が「深く考えずに発信された情報がよく見られる」を挙げています。

加賀中生のみなさんも SNS を利用している人が多いと思いますが、自分の SNS の使い方、あるいは SNS との付き合い方にはどのくらい注意を払っているのでしょうか。残念ながら SNS によるトラブルはどの学年でも起きています。便利なものであることは間違いありませんが、使い方を間違えたり、情報の真偽を考えずにその情報に踊らされたりすることがあってはなりません。ましてや、「死ね」「キモい」などの人を傷つけたり不快にしたりするような発言は、たとえ仲間内であっても許されるものではありません。SNS の使い方、注意してください。

地域の中で活躍する加賀中生

10月12日(日)に、板橋地区と仲宿地区の地区運動会が行われました。運動会の運営の手伝いとしてジュニアリーダーに参加している加賀中生が頑張っていました。また、仲宿地区では会場が加賀中だったこともあり、吹奏楽部が昼休みに演奏をし、参加した方々から大きな拍手をいただきました。

10月18日(土)と19日(日)には「板橋区民まつり」が行われました。10人の加賀中生がボランティアとして参加し、ミカンの販売を頑張りました。

地域の中で活躍する加賀中生が、さらに増えていくことを期待しています。



生徒の活躍

○サッカー部

板橋区新人大会 予選リーグ1勝1敗
決勝トーナメント1回戦惜敗

○ソフトテニス部

板橋区新人大会団体戦

男子・女子ともに予選リーグ惜敗

○バレーボール部

板橋区新人大会

予選リーグ2勝1敗

順位決定リーグ2勝1敗 第6位

第4ブロック新人大会

予選リーグ1勝1敗で惜敗

○卓球部

板橋区民大会

中学校男子団体戦 第2位

中学校女子団体戦 第3位

○野球クラブ

板橋区新人大会 3回戦惜敗 ベスト8

○中学生の「税についての作文」

入選 9年 さん

入選 9年 さん

入選 9年 さん

○身近な環境に関するポスター展

努力賞 8年 さん

○明るい選挙啓発ポスターコンクール

佳作 8年 さん

○板橋区読書感想文コンクール

特選 8年 さん

佳作 9年 さん

佳作 9年 さん

今後の予定

10月23日(木) 白梅祭りハーサル①

(吹奏楽部以外の発表演目者、実行委員)

10月24日(金)

白梅祭前日準備(係以外は13:50下校)

リハーサル②(吹奏楽部、実行委員)

10月25日(土) **白梅祭**

(10月26日(日) 富士見地区祭り)

10月27日(月) 振替休日

10月29日(水) 学びのエリア教員研修会

(給食終了後下校、部活動中止)

10月30日(木)～11月8日(金)

9年生三者面談、地域面接練習

(9年生のみ、給食後下校)

10月30日(木)・31日(金)

小学6年生部活動体験入部

11月1日(土) 板橋ジュニア音楽祭

(吹奏楽部出場 15:20頃 板橋文化会館)

11月5日(水) 区内中学校教員研修会

(B時程、給食終了後下校)

試験1週間前、部活動中止

11月10日(月) 板橋平和のつどい

(17:00～ 8年 東さん、中山さん出演)

11月12日(水)～14日(金)

2学期末考査、3日とも給食なし

11月17日(月)

8年生職場事前訪問

11月18日(火)

9年生復習確認テスト



Kaga Junior High School
60th Anniversary